

城山(津久井城址)

期 日: 2015年3月14日(土) 晴れのち曇り

コース: 橋本駅8:55→城山登山口バス停9:20～飯綱曲輪10:40/45～城山山頂(本城曲輪)11:02/20～展望広場11:40/45～パークセンター11:55/12:30～三井大橋12:56～峰の茶屋13:35/48～奥の院13:55/14:02
→城山高校前バス停14:50

参加者: Hi, S, O, A, I, S



城山東側の城山登山口でバスを降りる。付近は道路工事中。この辺りには家老を務めた馬場家の屋敷があったという。



登山道に入ると間もなく男道と女道に分かれる。西の山頂(本城曲輪)目指して、男道に登る。



尾根の東端、展望の良い十兵衛山に立ち寄る。相模川と串川に挟まれた要害の地であることが判る。



登山口にあった案内図で位置を確かめる



稜線道は急坂が多く鎖場もある。



明治に入り御料林になったことを示す宮標石。



鷹射場に出る。実際に鷹狩りが行われたのであろうか。



俳句投稿用の短冊と竹筒製ポストが用意されていた。Nさんがおられないのが残念。



敵の侵入を防ぐ堀切の跡。三つある一つ目。



その先には小さな宝ヶ池。水が枯れることはないという。



樹齢900年を超える大杉は2013年8月11日落雷で焼失。



一段下の曲輪には痛ましい焼け残り材が。



烽火台とも鐘撞堂ともいわれる曲輪。
遠方への情報伝達施設があったのだろう。



すぐ先に飯綱曲輪。飯綱神社が厳重に保護されてある。
飯綱権現は戦勝の神として武門に厚く信仰されたという。



二つ目の堀切跡。左の車坂を下りると根小屋に至る。



城道を直進する。



太鼓曲輪を後に本城曲輪に向かう。



本城曲輪手前に三つ目の堀切跡。引橋があったという。



山頂(本城曲輪)には築井古城記碑(1816年撰文)が建つ。鎌倉時代三浦半島の津久井氏が当地を領したと伝わるが、現在の遺構は16世紀北条氏に従った内藤氏時代のもの。1590年6月25日徳川勢に攻められ落城、幕府直轄となった。



南側には当時の土塁が今も残る。



Sさん持参の手作りパンを戴いた後、本城曲輪を後にする。



車坂を下りる。途中敵の侵入を防ぐ塹堀の跡も見られた。



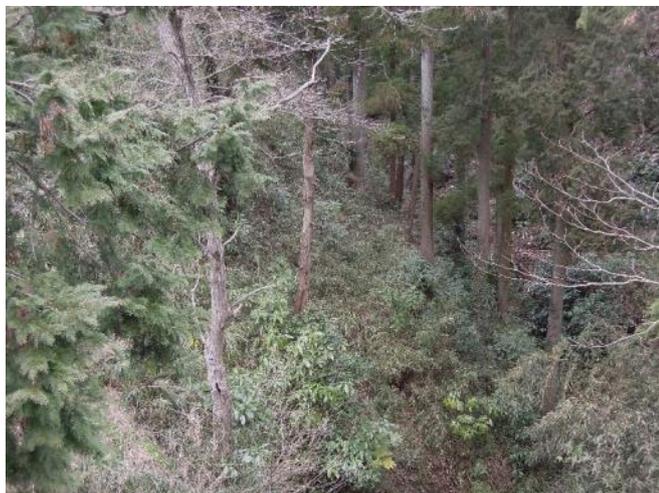
遺構の破壊回避のためデッキ園路が設けられている。



根小屋の御屋敷・馬場の上からは丹沢などの山々が望める。1569年北条方が武田勢と戦い敗れた三増峠も見える。



御屋敷には空堀・土塁に囲まれた城主居館があった。落城後再造成され、陣屋関連施設として利用された、



江戸時代水牢があったという牢の沢。



パークセンターは江戸初期幕府の陣屋があった所にある。



センター内展示の模型。 相当な土木工事だったろう。



昼食後西側の小網登山口に回り、対岸の峰ノ薬師に向かう。



三井大橋を津久井湖対岸に渡る。



表参道口から一登りすると峰ノ薬師の広い境内。



峰ノ薬師は高尾山薬王院、日向薬師、新井薬師と共に武相四大薬師の一つとして賑わったという。



奥の院は味気ない外観だが二階奥には金ぴかの御本尊。ここから城山高校前バス停に下りることにした。



里から見る城山。昔ほどのように見えたのだろうか
バス停に着くと同時に来たバスに乗り、橋本駅で反省会。



皆さんお疲れ様でした。